

チャレンジいばらき



手話カフェ・さくらんぼ



八千代町国際交流 YIFA



ネットワーク活動推進大会



茨城県生活学校連絡会 総会

特集

歩み寄りのコミュニケーション

～学び合って、始めよう、ゼロからのボランティア～

- ▶ 総会実施報告 ▶ 県民活動推進委員会 ▶ 私のボランティア talk & matching 事業
- ▶ 茨城県企業連携型NPO活動支援事業 ▶ 団体会員を訪ねて ▶ ネットワーカー活動推進大会
- ▶ 茨城県生活学校連絡会 総会 ▶ 霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦

令和
5年度

チャレンジいばらき県民運動

「チャレンジいばらき県民運動」は、やさしさとふれあいのある茨城づくりと県民運動を通しての新しい茨城のイメージづくりを目指すとともに、県民一人ひとりが幸せを実感できる、共助による新しい茨城の実現に向けて、社会の課題に挑戦する県民運動を展開してまいります。

身近な地域課題を自ら解決しようとする意識を持った“人材”を活用し、県民の共助意識の醸成を図るとともに、県民、NPO、団体、企業、行政が連携・協働し、地域課題の解決に挑戦する県民主体の県民運動を進めます。また、企業や大学などと連携し、次世代を担う新たなひとづくりのサポートや地域活動支援を進めるとともに、若い世代が県民運動に参加しやすい環境づくりを推進します。



会員の紹介 (順不同) (令和5年5月1日現在)

チャレンジいばらき県民運動は、以下の会員の皆様のほか、個人賛助会員の皆様方のご支援とご協力により支えられています。

●市町村推進組織 (4)

小美玉市まちづくり組織連絡会
高萩市市民憲章推進協議会
土浦市まちづくり市民会議
水戸市住みよいまちづくり推進協議会

●団体 (80)

NPO法人アスク
「茨城アジア教育基金」を支える会
茨城空港利用促進等協議会
(一社)茨城県安全運転管理協会
(一社)茨城県医師会
(公社)茨城県栄養士会
(公財)茨城県開発公社
(公財)茨城県学校給食会
茨城県学校長会
(一社)茨城県環境管理協会
(一財)茨城県環境保全事業団
(公社)茨城県看護協会
(一社)茨城県経営者協会
(一財)茨城県建設技術公社
(一社)茨城県建築士会
(一社)茨城県建築士事務所協会
(一社)茨城県高圧ガス保安協会
(一財)茨城県交通安全協会
茨城県高等学校長協会
茨城県高等学校PTA連合会
(公財)茨城県国際交流協会
茨城県国民健康保険団体連合会
(公社)茨城県歯科医師会
茨城県自治会連合会
茨城県市長会・町村会
茨城県自動車販売店
交通安全対策推進協議会
茨城県社会教育振興協議会
(社福)茨城県社会福祉協議会
茨城県商工会議所女性会連合会
茨城県商工会議所青年部連合会
茨城県商工会議所連合会
茨城県商工会女性部連合会
茨城県商工会青年部連合会
茨城県商工会連合会
茨城県少年団体連絡協議会
茨城県消費者団体連絡会
茨城県食生活改善推進員協議会

(公社)茨城県食品衛生協会
(公財)茨城県スポーツ協会
茨城県生活学校連絡会
茨城県生活協同組合連合会
(公社)茨城県青少年育成協会
茨城県青年団体連盟
(一社)茨城県造園建設業協会
茨城県女性団体連絡会
茨城県中小企業団体中央会
茨城県庁生活協同組合
茨城県土地改良事業団体連合会
茨城県農業協同組合中央会
茨城県農業法人協会
茨城県PTA連絡協議会
茨城県保育協議会
茨城県民間保育協議会
(公社)茨城県業判師会
茨城県幼少年婦人防火委員会
(公社)茨城県臨床検査技師会
(公財)茨城県老人クラブ連合会
いばらきコープ生活協同組合
茨城産業会議
茨城ダルク今日も一日ハウス
茨城文化団体連合
NPO法人エコグリーンいばらき
NPO法人エコレン
かいつむりの会
笠間稲荷神社
霞ヶ浦問題協議会
環境保全茨城県民会議
学校法人木村学園 石岡幼稚園
NPO法人障害者雇用促進協会
(社福)自立奉仕会
生活協同組合
パルスシステム茨城 栃木
生活支援ネットワーク・
介護セン
(社福)聖隷会 しらゆり保育園
艦づな会
NPO法人日本スポーツ振興協会
(公社)日本青年会議所関東地区
茨城ブロック協議会
ひたちなかユネスコ協会
NPO法人ひと・まちなっとわーく
(社福)芳香会
NPO法人ばかばかくらぶ

●企業 (104)

(株)秋山工務店
(株)あけぼの印刷社
アサヒビール(株)茨城工場
イオンリテール(株)
北関東カンパニー茨城事業部
(株)石川工業所
茨城いすゞ自動車(株)
茨城県信用組合
茨城セント販売(株)
茨城工芸産業(株)
茨城交通(株)
(株)茨城新聞社
茨城水産(株)
茨城トヨタ自動車(株)
茨城トヨペット(株)
茨城日産自動車(株)
(株)茨城放送
(株)茨城ポートオーソリティ
(株)ウライ文具
ウルノ商事(株)
NTT東日本(株)茨城支店
(株)大塚製作所
大富印刷(株)
(株)笠間印刷所
鹿島都市開発(株)
鹿島埠頭(株)
鹿島臨海工業地帯企業連絡協議会
鹿島臨海鉄道(株)
(株)カスミ
株木建設(株)茨城本店
関東印刷(株)
(株)木内酒造1823
(株)さど印刷所
キリンビール(株)取手工場
(株)ケーズホールディングス
(株)鯉淵工業
(有)こうじや
(株)光和印刷
コスモ総合建設(株)
(株)寿
(株)笹目宗兵衛商店
JX金属(株)
(株)しびっくばわー
(株)ジョイフル本田
(株)常陽銀行

常洋水産(株)
昭和建設(株)
鈴織工業(株)
(医)青藍会 大場内科クリニック
(医)聖和会 つくば病院
(株)セイウ食品
関彰商事(株)
損害保険ジャパン(株)
(株)タイハイ
(株)高野高速印刷
(株)タナカ
(株)田中企画 水戸営業所
(株)月の井酒造店
(株)筑波学園ホテル
(株)筑波銀行
(株)つくば研究支援センター
(株)デペロ
東京海上日動火災保険(株)
茨城自動車営業部営業部第1課
(有)東京総合染色
(株)東京電機
(有)トータルコミュニティサービス
(株)トビタ文具
トヨタL&F茨城(株)
(株)トヨタレンタリース茨城
(株)仲川建設
中川ヒューム管工業(株)
(株)奈良屋
(株)西山工務店
日東電気(株)
日東メンテナンス(株)
日本放送協会 水戸放送局
(株)日本クリエート茨城
日本原子力発電(株)東海事業本部
地域共生部茨城事務所
日本たばこ産業(株)東関東支社
(株)沼田機業
(株)ヌマタ商事
ネットトヨタ水戸(株)
ハタヤ商事(株)
(株)幡谷本店
(株)日立製作所
日立セメント(株)
(株)広沢本社
(株)フジタビジネスマシズ
(株)富士菱

(株)双葉
(株)ヘレナメディアリサーチ
北越コーポレーション(株)関東工場
ホテルレイクビュー水戸
(株)水戸京成百貨店
水戸京成ホテル(株)
(有)水戸山翠商事
水戸自動車工業(株)
水戸信用金庫
水戸中央青果(株)
水戸ヤクルト販売(株)
(有)ミノワ印刷
明利酒類(株)
八幡印刷(株)水戸営業所
結城信用金庫
(株)竜ヶ崎自動車教習所

●市町村 (44)

水戸市 筑西市
日立市 坂東市
土浦市 稲敷市
古河市 かすみがうら市
石岡市 桜川市
結城市 神栖市
龍ヶ崎市 行方市
下妻市 鉾田市
常総市 つくばみらい市
常陸太田市 小美玉市
高萩市 茨城町
北茨城市 大洗町
笠間市 城里町
取手市 東海村
牛久市 大子町
つくば市 美浦村
ひたちなか市 阿見町
鹿嶋市 河内町
潮来市 八千代町
谷山市 五霞町
常陸大宮市 境町
那珂市 利根町

●県 (1)

茨城県 (女性活躍・県民協働課)

●個人会員 (210人)



令和
5年度

総会実施報告

令和5年5月25日(木)
セキショウ・ウェルビーイング福祉会館
(茨城県総合福祉会館)



令和5年度、チャレンジいばらき県民運動は、ボランティア活動団体を紹介する場を新たに設け、ボランティア希望者の参加促進や活動者同士の情報交換、ネットワークの拡充を促進していくほか、昨年度に引き続き「いばらきチャレンジアワード」や「社会活動デビューセミナー」を通して、地域課題の解決に多くの方がチャレンジできるよう取り組んでまいります。

議事に先立ち、顧問の大井川知事は挨拶で「複雑化する様々な地域課題の解決には共助の機能が重要であり、その担い手を発掘し応援する社会活動デビューセミナーはこれからの社会にとって意義が大きい」と今後への期待を述べられました。事務局による令和4年度事業報告・決算報告に続き、令和5年度の事業計画、予算案などの決議が行われ全ての議案が承認されました。



令和
5年度
第1回

令和5年4月27日(木) 茨城県三の丸庁舎



「県民活動推進員会議」 が開催されました

県民活動推進員とは、チャレンジいばらき県民運動と連携して茨城県内における課題解決や地域活性化を目指す様々な事業を推進するメンバーです。今年度、阿部理事長から新任1名・再任5名の皆さんに委嘱状が交付され、継続15名を合わせた推進員21名体制での新たな活動がスタートしました。



阿部理事長から、「チャレンジですから良い物は守りつつ、(従来に)捉われず進めていきたい」と挨拶がありました。事務局からは、今年度の事業計画・予算説明とあわせて、新事業案「私のボランティア talk&matching」の説明も行われました。「人との大事な新しい出会いを、地元の活動につないでいく橋渡しをしていきたい」と抱負を語るのは、新任の推進員、高野照代さんです。今年度も、チャレンジいばらき県民運動では、推進員の皆さんにご協力いただき、県民運動の推進および共助による地域づくりに積極的に取り組んでまいります。



私のボランティア talk & matching 事業

茨城県内でボランティア活動を行っている団体の取り組みを紹介する場を設けることにより、新たなボランティア活動者の参加を促進するとともに、活動者同士の情報交換・ネットワークの拡充を図り、地域における共助のための活動を活性化します。

《茨城県内でボランティア活動を行っている団体の取り組みを紹介》



新たなボランティア活動者の
参加を促進

活動者同士の情報交換や
ネットワークの拡充

地域における共助のための活動を活性化

対象者

茨城県内を中心にボランティア活動を行っている方

- ▶ ネットワーカー協議会 ▶ 大学のボランティアサークル
- ▶ NPO 法人 ▶ 地域のボランティア団体
- ▶ CSR 活動に取り組んでいる企業 など

ボランティア活動に関心のある方

【実施日】年4回(8/2[※]、10/11[※]、12/6[※]、2024 2/7[※])

【実施場所】交流サルーンいばらき 水戸市三の丸 1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階

詳細が決定いたしましたら、ホームページ等でご案内いたします。

いばらきチャレンジクラブ「SASAEAI」入会のご案内

これからボランティア活動や地域貢献活動、環境・福祉・SDGsへの取り組み、NPO法人の設立など何らかの形で社会的な活動を行いたいと思っている方々やその活動に関心のある方々、あるいは、現に社会活動を行っており、ネットワークや事業を拡大したいと考えている方々などを対象として、そのスタート等のために必要な情報を提供する登録制クラブです。

登録・詳細はコチラ





水戸市

手話サークルさくらんぼ



大切なのは互いを尊重し
対等な立場で交流し学び合うこと

福祉財団にも認められた地域に
手話を広めたいという熱意と実績

ろう者と話す楽しさをぜひ
手話カフェで体験してください

サークルを主宰する青木千鶴子さんは、耳が聞こえない方(ろう者)と健聴者が対等の立場で交流し学び合える機会を提供するため2009年から活動しています。ご自身のお子さんの病気がきっかけで手話を学ぶうちに、ろう者との自由なコミュニケーションが必要と感じ仲間3人と共にサークルを立ち上げました。現在70名近くの会員が月4回の活動で手話の勉強や交流を行っています。水戸市内関係5団体との交流会や、赤い羽根街頭募金など様々な活動の中心にあるのは、ろう者と健聴者が触れ合える場所であるということ。2020年に(公)麒麟福祉財団から助成を受けて始めた手話カフェも、地域の人とろう者が気軽にしゃべりできる場所を提供したいとの熱意が形になったものでした。「ろう者の方は、“こんにちは”と手話で返すだけでも“聞こえないことを理解してもらえた”と嬉しく感じる」と語る青木さん。ボランティアの始まりは、相手を思う小さな歩み寄りからです。

手話サークルさくらんぼ 代表 青木 千鶴子さん

《手話カフェ・さくらんぼ》
毎月第4土曜日13時より水戸市河和田で開催
★詳しくはサークルFacebookをご確認ください



八千代町

八千代町国際交流 YIFA

Yachiyo-machi International Friendship Association



地域課題に向き合う意識が
ボランティア活動の原点

外国人と行政の両者をつなぐ
YIFAのチャレンジ

“共に暮らす” 新しい時代の
街づくりは相互理解から始まります



八千代町で暮らす外国人向けに日本語教室を開くYIFAには、ベトナムやインドネシア、スリランカ、中国などアジア圏の外国人が多く参加しています。「生活をする上で言葉が通じないのは大きな障壁。誰もが住みよい町だと思えるお手伝いをしていく」と語る代表の山口さん。原点は2022年6月、町民に対する国際ボランティアの募集。その説明会で、外国人住民が町人口の6~7%を占め、増えている実状を知り、国際交流と多文化共生を強く意識するようになりました。地域おこし協力隊のニエケひとみさんを中心に当初はゲームやおしゃべりサロンなど交流をメインに活動。やがて多くの外国人からの「日本語を教えてください」というニーズに応え、語学学習に特化した活動が始まると、コミュニケーションを取るスタイルの学習がお互いの距離を縮め、暮らしに関わる相談を外国人が気軽にできるような機会も増えてきました。「もっと交流を深め、将来は外国人もスタッフとして入ってもらい一緒に支援活動や相談窓口をやってきたい」と語る山口さんの視線は、ボランティアの新たなチャレンジに向けられています。

代表 山口 恵美子さん、地域おこし協力隊員 ニエケ ひとみさん

砂沼の環境を守りたい

支援される側から支援する側へ

茨城県企業連携型 NPO活動支援事業

【モリケンセツNPO活動支援事業】

森建設株式会社×砂沼環境連絡協議会

県と企業が協調し、地域貢献活動を行うNPO法人等に対して助成（寄付）を行い、地域の課題解決に向けた取り組みを支援する事業です。



砂沼環境連絡協議会 森建設(株)
会長 内山 二三男さん 代表取締役社長 森 寛樹さん

筑西市に本社を構える森建設(株)は、「地域に貢献し、未来を創造する」を経営理念に掲げ、土木から建築までオールインワンのまちづくりを支援しながら、地域の発展とともに歩むこと70年。森社長は、自身が所属するNPO法人で茨城県企業連携型NPO活動支援事業を知り、自社でも社会貢献につながればと寄付協力企業となり、金銭的な支援のほか、砂沼環境連絡協議会主催の清掃活動「#砂沼をきれいに」に参加し社員と汗を流しました。砂沼がまちづくりの拠点・人々の憩いの場となること、同事業が広く周知され、より多くの団体や企業が参加することを願っていました。

一方、同事業を活用している砂沼環境連絡協議会は、砂沼の水質向上と自然環境の保全を図ることを目的とした設立2年目の新しい団体です。清掃活動は、昨年に引き続き行われており、内山会長は、「支援を受けられて助かる。清掃活動の回数を重ねるごとに、砂沼周辺のゴミの減少を実感しているが、まだまだ。砂沼の素晴らしい環境を未来に遺すためにも活動を続けたい」と話していました。

茨城県企業連携型NPO活動支援事業に関するお問い合わせ先

茨城県 県民生活環境部 女性活躍・県民協働課 Tel.029-301-2175

砂沼環境
連絡協議会
Instagram
Facebook



森建設(株)
Home Page



団体会員を訪ねて Vol.5

株式会社ヌマタ商事 茨城県水戸市笠原町600-32

事業内容 鞆・袋物・洋装雑貨の卸、小売



「ここでしか作れない」鞆やランドセルリメイクで、人の暮らしと想いに寄り添う70年企業。地域に根差し、培った強みを活かして困り事解決に取り組むヌマタ商事。商いも、社会貢献も、その機動力は「人を喜ばせたい」想い。



同社が平成11年から取り組むランドセルリメイクは、「入学前に亡くなった子の仏壇に供えたい」という声に応えたのが始まり。今では、眼鏡ケースや財布に作り替え、両親や祖父母へ感謝を込めて「贈る」人が多いそう。一方で、ランドセルの入手が困難な生活困窮世帯の実情に目を向け、NPOと連携して展示品や旧モデルの新品寄贈を行う。「本当に助けが必要な人ほど声をあげられず、行政の支援が届かない」という地域課題に、自分達ができる事で力になりたい、と沼田さんは話します。

また、茨城県心身障害者福祉協会、JRA美浦トレーニング・センターと連携して行う「ゼッケンバッグ」の制作、販売は、売上金の寄付だけで終わらない「循環型支援」。使用済の調教馬ゼッケンを購入し、障害者支援施設「虹の里」(美浦村)で選別・洗浄、県内工場で縫製、同社で販売する流れを構築。「ALL茨城」で地域経済活性化と、持続できる社会支援に取り組んでいます。



常務取締役 沼田 邦郎さん

チャレンジいばらき県民運動 会員募集

★団体会員(年会費) 10,000円
★個人賛助会員(年会費) 2,000円



チャレンジいばらき県民運動では、やさしさとふれあいのある茨城づくりと共助による新しい茨城の実現に向けて、福祉、環境保全、青少年育成、防犯・防災など様々な分野で、県民・団体・企業・行政が手をつないで支え合い、社会の課題に挑戦する県民運動を展開しています。このような趣旨にご賛同され、運動に参加していただける団体・企業、個人の賛助会員を募集しております。



ネットワークー 活動推進大会 共助社会づくり 広げよう「支え合いの輪」



令和5年2月22日(水) 水戸プラザホテル

県内各地において地域活動を実践し、県民運動の普及に努めている「地域活動員(ネットワークー)」が、大会を通じて研さんと交流を深め、今後の地域活動の活性化につなげることを目的に、ネットワークー活動推進大会を開催しました。



前半は、委嘱状交付式が行われ、新たに委嘱した地域活動員の方々に阿部理事長から委嘱状が交付されました。新しい地域活動員らは、「少しでも地域のお役に立てればと思います参加した」「ネットワークーの活動を通じて、色々学びたい」など抱負を述べました。後半は、株式会社UDワーク代表取締役 前田亮一氏より「サロン活動でのデジタル活用方法と3つのポイント」をテーマに講演があり、80代の方のデジタル活用の事例や暮らしの中での取り入れ方、SNS活用のアドバイスがありました。続いて、いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」の受賞者による活動発表がありました。交流会も行われ、講師の前田氏やアワードの受賞者に、地域活動におけるアドバイスや相談をする熱心な地域活動員の姿が見られました。

令和5年5月17日(水) ザ・ヒロサワ・シティ会館 別館

茨城県生活学校連絡会 総会

資源・環境問題、食に関する問題のほか様々な課題解決に取り組んでいる県生活学校連絡会が、第54回総会を開催しました。

前半は、茨城県生涯学習・社会教育研究会会長 長谷川幸介氏の講演「これからの生活学校のあり方」が行われ、生活学校が取り組んできた「新たな幸せを作るための学び」に誇りを持つべきと激励の言葉がありました。後半は、茨城大学教育学部 石島恵美子教授の講演「食品ロスを大切な人に伝えるには～1人の千歩より千人の一步～」が行われ、食品ロスが環境に与える影響や食品ロスの削減に向けたアドバイス等があり、約100名の出席者が各々10人に伝えて欲しいと話がありました。



多くの参加者に恵まれ、生活学校の今後の在り方について有意義な協議の場を持つことが出来て、大変感謝しています。食品ロス活動を長く行ってきた私にとって、大切な人に伝える方法について多くの示唆をいただきました。消費者一人ひとりの関心と意識の高揚を図り「もったいない」の気持ちを大切に、日々の生活を積み重ねて行くことが大事であると改めて強く気付かされました。

茨城県生活学校連絡会 会長 藤原 正子さん



令和5年3月5日(日) 霞ヶ浦総合公園周辺及び湖岸

第99回

霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦

霞ヶ浦・北浦の環境保全に対する意識高揚を図ることを目的に、霞ヶ浦問題協議会、公益財団法人 茨城県開発公社、土浦市、チャレンジいばらき県民運動の4団体が主催し、第99回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦を開催しました。

企業、団体、地域活動員(ネットワークー)、県民活動推進員など約400名が参加し、霞ヶ浦湖岸や周辺の雑木林、公園の茂みなど普段足を踏み入れることがない場所も清掃活動を行いました。





いばらき チャレンジアワード

「支え合い 2023」

社会的課題の解決を 目的とする活動プランを 募集します。

地域の困りごとの解決など社会の新しい力になってみたいと考えている方々に対し、社会貢献のための独自性の高い活動プランのプレゼン機会を提供し、優秀なプランを表彰することにより、社会活動に向けてのチャレンジ精神を醸成するとともに、非営利の社会貢献活動を促進することを目的としています。

応募対象 福祉、環境、青少年育成、防犯・防災、地域づくり、コミュニティづくり、SDGsの推進など、様々な分野における社会的課題の解決を目的とする活動プランを募集します。なお、現在、活動を開始している事業についても対象とします。

応募資格 県内に住所又は活動の拠点を有する個人、法人など（学生、社会人、一般社団法人、NPO法人など）
※1 学生は、高校生以下を除く。※2 営利法人は対象外。（非営利団体主体の協働での活動は可）

賞金 ▶茨城県知事賞（1件）賞金 100万円、賞状
▶チャレンジいばらき県民運動理事長賞（1件）賞金 30万円、賞状
▶奨励賞（2件）賞金 5万円、賞状

募集期間 令和5年 6月1日(木)～7月31日(月) ※必着

応募方法 チャレンジいばらき県民運動ホームページより「いばらきチャレンジアワード「支え合い 2023」応募申請書」をダウンロードしてください。

お申し込み・募集要項はこちら

URL ▶ <https://challenge-ibaraki.jp>
E-mail ▶ award@challenge-ibaraki.jp



支援団体募集中

花いっぱい運動定着化促進事業

花壇づくりを応援します！

花壇づくりをおとした地域コミュニティの再生・活性化を図ることを目的に、花いっぱい運動に継続して取り組んでいる、または取り組もうとしている団体（自治会、子ども会、高齢者クラブ等）や学校を支援しています。

支援内容 支援金 5万円以内
(1団体・学校あたり)

締め切り 令和5年9月29日(金)

郵便の場合▶当日の消印有効 メールの場合▶必着

主催：チャレンジいばらき県民運動
公益財団法人げんでんふれあい茨城財団



写真提供：
岩井第一小学校

応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、活動時や花壇の写真添えてチャレンジいばらき県民運動まで提出してください。

応募用紙は、県内の公共施設などで配布しております。また、チャレンジいばらき県民運動のホームページからもダウンロードいただけます。



編集後記

本年度チャレンジいばらきでは、結び付きを重視した活動を展開しようとしている。同じようなことをしている団体だから、協力し合えると単純な発想で、無理に進めようとする、だいたい上手く行かない。大事なことは、お互いを理解することと、リスペクトする事だと思う。正しいやり方が一つだけあるわけではない。人は必ず失敗する。その経験から得たものは重要だ。まずは、対等な立場で話し合うことから始めてみませんか。(県民活動推進員 高橋)

東京が好きです。人が多く、おいしいお店もいっぱいあって、ネオンが目くらみです。一方、茨城はお店も少なく、夜の街はまっ暗です。でも、実は「人」がスゴイんです！と、最近感じるようになりました。いばチャレアワードのファイナリストや、社会活動デビューセミナーでお話された講師の方々、チャレいばレターの取材でお会いした方々、本当にすばらしい人達ばかりでした。皆さん、社会貢献という大きな理念を持って、様々な分野で活動・活躍されています。茨城は、あらゆる可能性を秘めた人材の宝庫であり、茨城の未来は明るいと確信しています。これからも、たくさんの人達と出会い、チャレいばレターを通して、その魅力をお伝えしていきたいです。(県民活動推進員 小畑)

ふるさと自慢について、県北の漁場は暖流と寒流がぶつかり合う北限の海である。植物では、浜菊、オオウメガサソウの分布は、ここが南限の地になります。オゼイトンゴ、ツリフネソウ、ミスオオバコは、希少な植物ですが見られます。これらは、国営ひたち海浜公園の浜辺や公園内で見ることができます。戦後、水戸飛行場は、米軍に接収されて、水戸対地爆撃場になりました。昭和48年(1973年)に返還され整備した結果、自然に恵まれた地域となりました。このように、ふるさと自慢は各地に、史跡、名勝、建造物、天然記念物などがあります。これらの歴史ある文化財を発掘して、茨城の魅力を外内に発信しましょう。(県民活動推進員 飯村)

お問い合わせ

チャレンジいばらき県民運動 広報紙

〔発行〕チャレンジいばらき県民運動 令和5年7月1日発行
〔編集〕県民活動推進員(魅力発見・発信グループ)



チャレンジいばらき県民運動

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階

Tel.029-224-8120 Fax.029-233-0030

ホームページ ▶ <https://challenge-ibaraki.jp> E-mail ▶ info@challenge-ibaraki.jp

